

埼玉県地域枠プログラム

埼玉県は人口あたりの医師数が全国最下位であるうえ、人口の急速な高齢化も見込まれ、今後さらに医療需要が増加すると思われまます。また、地域偏在や診療科偏在などの問題も指摘されています。このような課題に積極的に取り組んでくれる意欲ある医学生を支援するため、平成 22 年度入学生から埼玉県地域枠奨学生を募集してきました。令和 5 年度入学生まで合計 208 名の医学生に本奨学金が埼玉県より貸与されており、埼玉県の医療への貢献が期待されています。

このような埼玉県地域枠奨学生のため、将来に役立つ学習機会を設けました。進級には無関係ですが、埼玉県地域枠奨学生は、本プログラムを活用しての積極的学習が強く期待されます。

1. 課外プログラム「埼玉の医療」(全学年推奨、地域枠学生 1、2 年生必修)

月 1 回程度、埼玉県の医療について勉強会を開催します。地域で活躍している医師、埼玉県で保健医療行政に取り組んでいる方、などによる講演会のほか、奨学生がお互いに地域医療についてどのように考えているのかといったテーマでの意見交換会などを予定しています。

2. 埼玉県知事表敬訪問 (地域枠学生 1 年生必修)

平成 29 年度より、地域枠奨学生 1 年生全員で埼玉県庁に県知事を訪問します。1 年生全員の決意文を小さな文集にしてお渡するとともに、県知事から激励の言葉をいただきます。日時は未定ですが、1 年生は必ず全員出席となります。

3. 選択必修 (1 年生)「地域医学・医療学入門」(地域枠学生 1 年生選択必修)

地域医療を学ぶ基本として、地域とは何か、現在あるいはこれからの地域医療に携わり地域住民の健康を守ることでできる医療人・医師に求められる考え方や技術を低学年から学ぶことを目的として、埼玉県や大学近隣の自治体、専門職、住民の協力を得て現場で学びます。1、2 年生の良医への道コース選択必修ユニットにおいて、前期月曜日に 2 コマ 9 回の予定で開講します。1 年生か 2 年生のいずれかで履修します。

4. 選択必修 (2 年生)「総合診療とプライマリケア」(地域枠学生 2 年生選択必修)

将来、地域医療に携わり地域住民の健康を支えるためには、専門とする診療科に関わらず、総合的にひとを診ることのできる医療人になることが社会からは求められています。そこで、2 年生の早い時期から総合診療とプライマリケアの考え方、地域医療と高齢化、総合診療は密接に関連していることを事例を通して学びます。1、2 年生の良医への道コース選択必修ユニットにおいて、後期月曜日に 2 コマ 9 回の予定で開講します。2 年生で履修します。

5. クリニカル・クラークシップ Step3 特定地域指定学外施設実習 (地域枠学生 6 年生選択必修)

将来、勤務することが期待される特定地域の指定医療機関で、6 年生実習で 1 クール実習します。事前に地域診断を実施し、地域を理解してからの実習で、地域を学ぶ事が期待されます。

6. 大学間連携 IPW 演習・IPW 実習 (地域枠奨学生 3~6 年生選択必修)

平成 24 年度から埼玉県立大学、城西大学、日本工業大学と本学と埼玉県とで協定を結び、取り組んでいる彩の国連携力育成プロジェクトが開講する科目として、大学を超えて専門職連携、チーム医療を模擬的に学びます。下記 (1) (3~6 年生) または (2) (4 年生) を在学中に 1 回以上、(3) は 3 年生全員が履修してください。

(1) 課外プログラム「彩の国大学連携 IPW 実習」(3~6 年生対象)

本実習では他領域の相互理解、チーム形成、患者利用者地域の課題解決のプロセスを体験し、自らの行動を振り返り(省察)、将来に活かすことができるようになることを目標としています。毎年夏季休暇の後半に 4 日間の実習を行っています。本学では 3~6 年生を対象に、課外学習プ

プログラムとして参加することが可能です。4大学の3,4年生と合同のチームを作り、3日間の埼玉県内の保健医療福祉施設での実習、最終日には報告会を行います。他の専門職との連携を学生時代に模擬的にでも経験することで、将来地域医療の現場でチーム医療を行うために必要な基本的な価値観、スキルを身につけることができます。

(2) 選択必修「導入クリニカルクラークシップ 2-1 地域医療実習 IPW 実習」(4年生対象)

埼玉県立大学と本学の2大学の学生が参加して、毎年10月に4年生の正規のユニット内で選択必修として行う実習です。埼玉県立大学では5学科の4年生が必修科目として県内約70箇所の施設で実習が行われます。県立大学の学生5人と本学学生1人がひとつのチームになり2回のオリエンテーションを経て4日間の実習を行います。

(3) 選択必修「地域医療とチーム医療 3 緩和医療 IPW 演習」(3年生対象)

埼玉県立大学3年生が履修する科目と同じ目標とし、末期癌のシナリオで模擬患者の協力を得て、模擬的に専門職連携を学ぶ演習です。12月の金曜日の午後に実施します。城西大学薬学部を会場に、埼玉県立大学、日本工業大学の学生とともに、患者さんのより良い暮らしの実現を目指した支援について考えます。

7. 夏季・春季地域病院見学(地域枠学生全学年、任意)

夏季休暇および春季休暇を利用して、将来地域枠奨学生の方々が勤務することになるかもしれない特定地域指定医療機関の見学を行います。1日か2日程度の見学で、低学年も参加できます。各医療機関の雰囲気や実際の姿を感じていただくためにも、積極的に参加してください。

8. 自治医大学生と共同の夏季研修(地域枠学生全学年、任意)

8月下旬の4日間、自治医大学生主催の研修会に参加します。秩父市大滝地区において住民の方への健康教室や地域医療フォーラムを行うことを通して、地域医療に触れ、将来ともに地域医療を担う自治医大学生との交流を図ることを目指しています。参加人数は限られていますが(数名以内)、積極的に参加してください。

9. 群馬大学学生との共同の県境地域の医療を学ぶ演習(地域枠学生全学年、任意)

夏季休暇および春季休暇を利用して、県境地域の病院見学と群馬大学学生との合同演習に参加します。課外学習プログラムで開催しますので積極的に参加してください。

10. 埼玉県地域枠奨学金に関する説明会・懇親会(地域枠学生全学年)

地域枠奨学生、埼玉県保健医療部医療人材課、学内関連教員をまじえて本制度の詳細についての説明会と懇親を深める会を年1回(12月頃)行います。原則全員出席してください。

11. 埼玉県主催の医学生交流会(地域枠学生全学年)

埼玉県主催の医学生交流会が毎年8月中旬にさいたま新都心で行われます。これは、埼玉県での研修とその後のキャリアアップを埼玉県保健医療部や埼玉県総合医局機構の方々と語る会として、県外のさまざまな医学部の学生が多く参加しています。埼玉県地域枠奨学生は原則として全員出席してください。

★その他、地域枠学生の支援として、アンケート調査、面談等を実施するなど、埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業の中で実施する様々な取組に参加していただきます。

担当

医療人育成支援センター地域枠奨学金部門

医学教育センター卒前医学教育部門地域医学推進室

問い合わせ先：医学部事務室学務課 外線 049-276-1109 内線 41-2020